

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（血液・リンパ節の細胞など）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（血液・細胞など）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

造血器腫瘍における遺伝子異常の網羅的解析

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院第1内科

【研究責任者】 竹中克斗（第1内科 教授）

【研究代表者】 小川誠司（京都大学医学研究科医学専攻腫瘍生物学講座腫瘍生物学 教授）

【研究の目的】

過去に当院を受診された血液悪性腫瘍患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、病気の原因を解明し、新しい治療法の開発を目指す研究を行うことといたしました。この研究は血液悪性腫瘍における有効な治療方法の検討を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2011年1月から2021年9月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち血液悪性腫瘍と診断された患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料） 通常の診療で使用した後に残った試料（血液・リンパ節の細胞など）

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータ/試料は、匿名化されて、CD-R に保存した電子ファイルを郵送することによって京都大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院第1内科 竹中克斗

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院第1内科 竹中克斗

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5296